



関東大震災から復興を遂げ、本格的に観光業を目指した昭和初期の神奈川を描いた『神奈川観光図録』。昭和7(1932)年に神奈川県観光連合会が編纂され、リファイトの原案を鳥居信太郎の吉田初三郎に依頼。その原簿が平成16(2004)年、約70年ぶりに発行内で発見された。因には原簿の名称や交通機関が記され、当時の神奈川の様子を知る上でも貴重な資料となっている(神奈川県立歴史博物館蔵)。

神奈川県  
の観光情報  
を探すならココ!

神奈川県  
公式観光サイト  
「観光かながわNOW」

http://www.kanagawa-kankou.or.jp/



編集 秋野幸司  
文筆 渡辺 勇  
挿絵 志 木 繁浩志  
監修の 神奈川歴史研究会  
会長 竹村統一  
デザイン 青木真子  
写真 遠藤明子  
原厚仁  
遠藤明章  
地図制作 ジェイ・マップ

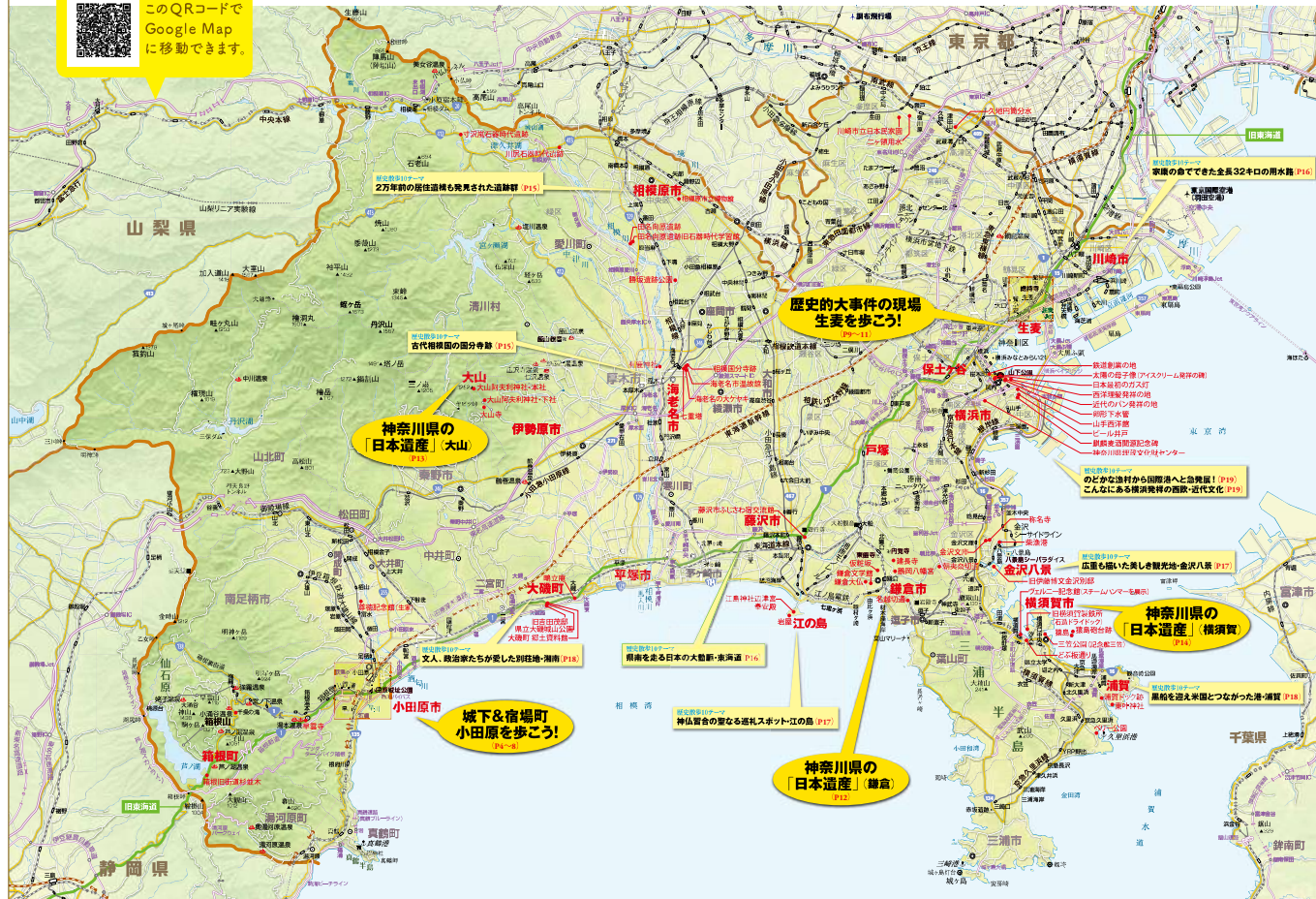
※本文に記述した  
観光地等については詳細があります。  
※掲載されている記事、写真、イラスト  
などの著作権を尊重します。  
※表紙の100周年記念の観光企画全図録

くわしくはコチラ!!



このQRコードで  
Google Map  
に移動できます。

# 神奈川 全県マップ & 記事索引



神奈川県  
の「日本遺産」 大山  
P.13

歴史的な大事件の現場  
生まを歩こう!  
P.9-11

神奈川県  
の「日本遺産」 横須賀  
P.14

神奈川県  
の「日本遺産」 鎌倉  
P.12

城下&宿場町  
小田原を歩こう!  
P.8-9

旧東海道  
家賃の割でできた全長32キロの用水路  
P.16

東洋国家の  
「神皇正統記」  
P.10

どの山村から回遊へと急降! P.19  
こんなにある横浜発祥の西沢「近代文化」 P.19

広さ6倍した美しい観光地-金沢八景! P.17

黒船を迎え来国とつながった港-浦賀 P.18

神仏習合の  
家なる道札-スケット-江の島 P.17

南無念ふ日本の大船-東海道 P.16



私たちが小田原を案内します!



ガイドの松本和子さん  
 [NPO 法人小田原ガイド協会]に所属する私たちがガイドが小田原の街や歴史をご案内します。料金や予約法などは、HPをご覧ください。お電話で。☎0465-22-8900  
 URL: http://www.odawara-gaido.com/



大名の権力の大きさを感ずる景色だね。

最上階にぐると設けられた回廊からは360度の景色が見渡せて、まさに殿様気分。伊豆の大島から、晴れた日には、左手彼方に房総半島までが望める。



二の丸正面にある鎧門は、2つの門と土堀で敵を封じ込み一掃打尽にできる仕組みになっている。お城ファンなら必見の見どころだ。



小田原城周辺は、「城址公園」として整備されている。春は桜、夏はアジサイやハスなどの花を楽しめる。写真の橋は、昭和初期、城内に建てられた高等学校のためにかけられた。その名も「学橋」。



長尾景虎(上杉謙信)は10万もの大軍で、後に武田信玄も小田原城に迫ったが、氏康・氏政親子は籠城作戦でそれらを選けた。まさに難攻不落の城だった。(CG成瀬京司)

私たちが歩きます

kaoriさん

ニューヨークを中心とした全米&日本で活動するスタンダップ・コメディアン。YouTubeで動画配信中。



マグナス・サリバンさん

来日歴10年のオーストラリア人。中学校教師などを経て、現在は、モータースポーツの雑誌記者として活躍中。

リニューアルで人気再燃!  
3重の天守閣が白く輝く

## 小田原城

高さ約38.7mもある3重4階建ての天守閣は、昭和35(1960)年に市制20周年記念事業として江戸時代の姿が外観復興されたもの。明治の廃城以後に、これほど大規模かつ忠実に復興復元された城は、関東では小田原城が随一。その後、復元された門や曲輪も、防御用の穴や窓(狭間)、土壁の工法までみごとに再現されています。平成28(2016)年5月のリニューアルで内部の展示がますます充実したほか、外壁も化粧直しされました。以後、来場者がすでに100万人を超える人気となっています。🕒9:00~17:00(入館は16:30まで)  
 🎫大人500円、小中学生200円



SAMURAIになった!次はNINJAだね。

本丸内の「甲冑・忍者の館」小田原城情報館で着付け体験もできる。🕒9:30~16:00(貸出15:30まで)🎫大人300円、小人200円

なんだかほっこりできる  
プチなパワースポット

## 報徳二宮神社

天守閣脇の小径を下ること2、3分、小峯曲輪の一角に、凛とした空気の漂う報徳二宮神社があります。御祭神は小田原が生んだ偉人・二宮尊徳翁。創建は明治27(1894)年。ぜひ、その偉業と報徳の教えに思いを馳せながら、ご祈願ご祈念を。



ココにも立ち寄りを!



## 小田原城歴史見聞館

小田原城や街の歴史を模型、音声、映像で説明。🕒城と同じ🎫大人300円、小中学生100円 ※天守閣、常盤木門との共通券あり



天守閣内部には武家文化や小田原の歴史を伝える貴重な展示が、甲冑、刀剣、絵画、古文書まで、歴史好きにはたまらない!



秀吉との戦いに備え氏政と氏直が整備した土塁や空堀は、総延長約9kmにもわたった。戦国時代最大の城郭であり、関東最大の「街」でもあった。(CG成瀬京司)

# 小田原を

Nakamura

歩こう!

小田原攻めに小田原評定。小田原提灯に名物かまぼこ。5代にわたる北条家が礎を築いた小田原は、歴史好きにはたまらない。史跡やスポットが満載です!



日本の古いお城に行くのは初めてです。楽しみます!

小学校の時の友達以来です。(神奈川県出身!)

It's amazing!

## 秀吉の小田原征伐は戦国時代の最終章

関東地方で最大の都市は小田原。いまはむかし、そんな時代がありました。戦国時代の末期(1500年代の後半)、後北条家4代氏政、5代氏直が小田原を治めていた時代です。交通の要衝であるこの地を手に入れようと、甲斐の武田信玄、越後の上杉謙信ら、戦国の名だたる武将が何度か小田原を攻めました。しかし、北条家が築いた小田原城は難攻不落とせなかつたのです。

防御の手法は、もっぱら土塁と空堀。より堅牢な防御線とするため、その総延長はリキロにおよびました。城だけではなく城下全体を囲む総構えという方式で、防御を固めるにつれて、自ずと小田原の街は大きくなっていったというわけです。

そんな小田原城をついに攻め落としたのが豊臣秀吉です。圧倒的な兵の数にくわえて秀吉がとった作戦は、「夜で城を築いてみせる」「その城で茶会など聞き余裕を見せつける」という心理作戦。さしもの北条氏政・氏直父子も100日の籠城の末、秀吉に屈服したのです。天正18(1590)年7月のことでした。氏政と



尊徳は身長が180cm以上もあったと言われています。



境内の一角に「きんじろうカフェ」が併設。尊徳が食した與汁(594円)もいただける。

生涯勤王だった尊徳翁にあやかり、学業成就の絵馬がたくさん奉納されている。





かまぼこって、深い!!

昭和57(1982)年から続く、「小さな美術展 かまぼこ板絵国際コンクール」の優秀作品の展示も見応えあり。



食事処「千世楼様」の小田原つくし丼(2268円)。アジのメンチを卵でとじた、1日10食限定の人気昼膳。☎0465-24-3456

小田原の名産かまぼこのすべてがわかり味わえる!

## かまぼこ博物館

かまぼこが小田原の名産になったのは江戸時代のこと。その評判は、東海道五十三次に伝わっていきました。慶応元(1865)年創業のかまぼこ生産会社・鈴廣が運営する「鈴廣かまぼこの里」内にある「かまぼこ博物館」は、まさにかまぼこのすべてがわかる殿堂。おいしい食べ方や材料に関する知識を学べたり、作り方体験も可能。各種かまぼこも購入できます。URL: <http://www.kamaboko.com/sato/>

ちよつと足さのばして.....

### 早雲寺

北条早雲の遺言に従い、氏綱が創建したとされる北条家の菩提寺。小田原征伐の際、一時的にここを本陣とした秀吉は、石垣

山城築城後一帯を焼き払った。江戸中期に北条家の子孫によって再建され、5代の供養塔も建てられた。(所在地は箱根町)



### 二宮尊徳生家・尊徳記念館

尊徳の生誕地。小田原栢山にある社会教育施設。生家の展示のほか、尊徳の生涯、村づくりの手法、貴重な遺品などが見学

できる。約1時間の解説も依頼可能。☎9:00~17:00(入館は16:30まで) 一般200円、小中学生100円 ☎0465-36-2381



食の文化、江戸の歴史、自然も堪能できます!

コンパクトなエリアに「歴史」が詰まっています!



小田原駅東口から徒歩約15分の「小田原宿なりわい交流館」。季節で開館時間が変わるのでぜひ事前確認を。☎0465-20-0515



館内に展示された小田原宿の「町割」。この施設は、国道1号線に面し、まさにこの町割のなかに建っている。

建物も一見の価値あり  
小田原観光の強い味方

## 小田原宿 なりわい交流館

関東大震災で被害を受けた建物を昭和7(1932)年に再建した旧網問屋。「出桁造り」という、小田原地方の典型的な造りの商家を再利用した施設です。無料で休憩ができるほか、20軒ある「街かど博物館」の情報も収集可能。12月31日と臨時休業を除き年中無休。



海外のSNSで「魔法の窓だ!」と話題になったんだって。

誰が呼んだか“魔法の窓”

## 御幸の浜

明治6(1873)年に明治天皇・皇后がおそるいで小田原をご訪問されました。以来、御幸の浜と呼ばれるように。西湘バイパスのトンネルを抜けると窓を開けたように突然青い海が広がる。



ココも小田原城の一部です!  
現存する国内最大の空堀

## 小峯御鐘ノ台 大堀切

小田原駅から北西へ徒歩20分ほどの場所に北条氏が築いた巨大な空堀が残っています。現存するものとしては国内最大級で、幅20~30m、深さ12m、V字法面の傾斜は最大50度もあります。東堀、中堀、西堀と続く巨大かつ複雑な構造で、秀吉の攻撃に備えるために完成させたと言われています。敵の見通しをさえぎる「横矢掛り」などの仕掛けも残っており、国指定史跡になっています。



こんな歴史遺産を実際に歩けるなんて驚き!

明治まで続く賑わいのなか、地場産業「なりわい」が発展していききました。名物の小田原提灯、梅干し、かまぼこなどはその代表格です。現在も続く、食品や工芸のなりわいを、市内に20カ所ある「街かど博物館」で、見たり、買ったり、体験することが可能。「小田原宿なりわい交流館」で事前に情報を集めて、歴史散歩に出かけてみましょう。

小田原駅からタクシーで約15分(1500円) 2000円程度。早川駅、板橋駅から約10分(1000円程度)。公園駐車場から天守台までは徒歩約20分。



双眼鏡があれば、東京スカイツリーまで見えるんだって!



標高255mの本丸から見下ろした二の丸。秀吉はこの城に千利休や天皇の勅使、さらには側室の淀君まで呼んで茶会や宴を開いたと言われている。

小田原城を見下ろす山腹に  
いまなお残る戦国の余韻

## 石垣山一夜城 歴史公園

豊臣秀吉の天下統一に最後まで抵抗した北条家。天正18(1590)年、いよいよその北条家の、15万とも20万ともいわれる大軍で、陸海の四方から包囲した秀吉。その本陣の地に秀吉を選んだのが、小田原城下をひと目で見渡せるこの石垣山でした。実際は、約80日をかけて築城したようですが、小田原城から見えぬように築城を進め、ある日突如周囲の木を伐採。あたかも一夜にして城ができたように見せかけたのです。敵の戦意をそくための秀吉の奇策……。大河ドラマなどでもしばしば描かれる戦国時代を象徴する逸話です。



かなり急な山道もあるから、歩きやすい靴でね。

この城は、関東で初の総石垣造り、秀吉も長龍戦になることを覚悟していたのかも知れない。

小田原攻めに参じた武将は、徳川家康、細川忠興、毛利輝元とそうそうたる顔ぶれだった。(CG成瀬京司)

関東大震災にも耐えた野面積み石垣の一部は、いまも当時の姿をとどめています。

東海道で最大の宿場街で「なりわい」が発展

江戸時代、主に小田原を治めたのは大久保氏でした。昭和35(1960)年に復興された天守閣も、宝永期(1704~1711)、大久保氏によって整備された城が原型です。江戸時代の小田原は、一万石の大久保氏の城下町であったと同時に、大動脈・東海道の宿場町としても発展し大いに賑わいました。その規模は、五十三次中最大級でした。明治まで続く賑わいのなか、地場産業「なりわい」が発展していききました。名物の小田原提灯、梅干し、かまぼこなどはその代表格です。現在も続く、食品や工芸のなりわいを、市内に20カ所ある「街かど博物館」で、見たり、買ったり、体験することが可能。「小田原宿なりわい交流館」で事前に情報を集めて、歴史散歩に出かけてみましょう。



表玄関

# 小田原駅にもある こんな見どころ

小田原の礎を築いた北条早雲の銅像が小田原駅西口前の広場に建つ。馬上の勇姿はさすがの戦国武将！



小田原城を目指して歩き始めるとすぐにある、駅前商店街のアーケードには、歴代小田原城主の家紋が見られる。



JR在来線改札の上には巨大な小田原提灯が、丈夫で小さくためる小田原提灯は、江戸時代のメカヒット製品。



東西連絡通路の天井に片岡鶴太郎さんが原画を描いた陶板レリーフが。表題は「小田原讃歌」。

JR東海道線に新幹線、小田急線に箱根登山鉄道、そして伊豆箱根鉄道の5線が集まる小田原駅。そんな小田原の表玄関にも、見どころが満載！

ココにも立ち寄りを！

創業80年！

## 伊勢屋の豆大福

昭和10(1935)年創業の和菓子店。「その日に食べて頂く分だけをつくって売る」という初代の教えを今に引き継ぐ。材料は厳選、添加物はほとんど使わない。創業当時から変わらぬ味の豆大福は1個156円。



ワタシも小田原駅で  
お迎えしますよ。







Kanazawa

# 生麦を歩こう！

## 明治維新へと続く 歴史的大事件の現場

事件から21年後に建てられた  
英国人哀悼と事件刻印の碑

### 生麦事件碑

この碑が建つのは、平成29(2017)年3月に開通した首都圏高速神奈川7号横浜北線の真下。島津藩の一行に非礼な振る舞いをしたとの咎で薩摩藩士に斬りつけられた英国人商人リチャードソンは、横浜方面へ700mほど逃走したのですがここで落馬。追ってきた薩摩藩士に「今、楽にしてやるから」と、とどめを刺されたのです。それから21年後、維新を経た明治16(1883)年、鶴見神社の宮司・黒川莊三によってこの碑が建てられました。碑文を詠んだのは、教育者・中村正直。あなたの死は日本の維新へとつながり無駄ではなかった。そんな大意の漢詩が刻まれています。



英語での説明も併記された案内板。「斬りつけ」の事実についての部分は、日本語と英語で微妙に表現が変えてあるようにも読める。

歴史の授業でも必ず習う「生麦事件」。江戸湾に面する漁村だった現在の横浜市鶴見区生麦の旧東海道の路上で事件は発生しました。数年後の明治維新の契機のひとつといわれる大事件。その現場を訪ねてみました。

ガイドのお話は、学校では習わなかったことがたくさん！



毎年8月21日には、事件を風化させまいとする地元の人たちによって追悼会も開かれている。

ココにも立ち寄りを！



貴重な資料が1000点以上！

### 生麦事件参考館

国内外から収集された生麦事件に関する資料を展示する私設資料館。オランダの大学から取り寄せたりチャードソンの遺骸写真、神奈川奉行所による調査記録など1000点あまりが展示されています。作家の吉村昭さんも『生麦事件』執筆のために日参されたとのこと。館長の浅海武夫さんが対応してくれるので事前連絡が必要です。☎045-503-3710

私たちが生麦をご案内します！

ガイドの酒井明美さん

10人以上のみなさんなら、私たち「鶴見みどころガイドの会」がご案内をします。1か月前までにHPからご予約をお願いします。URL: <http://sky.geocities.jp/tsurumimg/>







明治の横浜をイメージした店内だよ。

## グルメ スポットはココ!

### 江戸前の地魚が自慢

#### 味童 天金

名物のアナゴをはじめ、主人が目利きした上質な地魚が刺し身や天ぷらでいただける。東京からわざわざ通ってくる常連さん多いっしょとか。江戸時代から続く老舗中の老舗。JR 鶴見線・国道駅から徒歩1分。☎11:00~22:00 ④第2・4月曜日 ☎045-521-5895



ボクの国 Australiaより歴史があるんです(汗)

### 由緒あるビールを堪能!

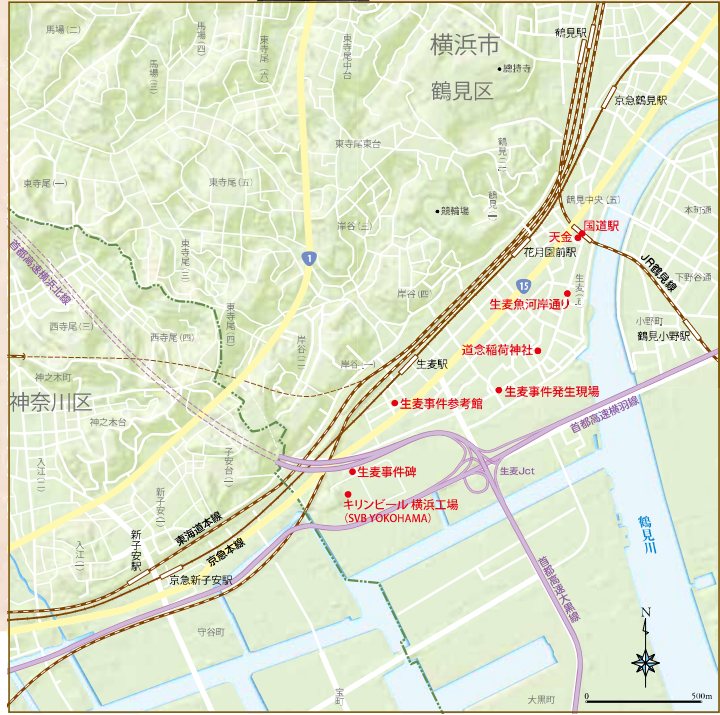
#### SVB YOKOHAMA

ノルウェーに生まれ、ドイツ人技師に醸造を学んだアメリカ人が、明治3(1870)年に横浜山手に開業したビール醸造所「スプリング・バレー・ブルワリー」。それを発祥とする生麦のキリンビール工場。その一角にあるビアホール。☎11:00~22:00(L.O.21:15) ④月曜日(祝日は営業します)年末年始、臨時休業あり URL:<http://www.springvalleybrewery.jp/yokohama/>



フランス・アルザス地方の郷土料理「タルト・フランベ」。ベーコンとオニオンのナチュラルは1300円。要予約で工場見学も可。

京浜急行生麦駅からぜんぶ歩ける距離ですよ!



アーチ型の梁とアールデコの意匠は鉄道ファンのみならず建築好きも必見!この都市部にして無人駅

### レトロ過ぎるたたずまいで“昭和”を発散する無人駅

#### 国道駅

JR京浜東北線鶴見駅から臨海部を走るJR鶴見線の駅。鶴見線は大正15(1926)年に貨物線として開業。昭和5(1930)年の旅客営業開始時に国道駅も開業しました。昭和18(1942)年に国有化、その後JR線となりました。アメリカ軍による機銃掃射跡が残っています。

### 赤い鳥居が目印! 古よりの土地の鎮守

#### 道念稲荷神社

横浜市指定無形民俗文化財ともなっている「蛇も蚊も」という行事が行われます(6月第1日曜日)。行事の起源は約300年前に遡り、疫病払いの神事が元と伝わっています。生麦事件現場からほど近い旧東海道沿い。



Yeah! 外国人の目から見るとエキゾチック!

### 幕府に魚を献上した名高い漁村の面影がいまも

#### 魚河岸通り

江戸時代の生麦村は、幕府に魚を献上する「御菜浦」のひとつでした。御菜浦はいずれも江戸湾に面した8村で、大井、羽田、子安、神奈川などもそうでした。他の地域では、漁村の面影はほとんど見ることができませんが、ここ生麦では、旧東海道沿いの「魚河岸通り」に往時の名残子を見ることができます。8時半から10時頃までの訪問がおすすめです。



日曜・祝日のほか、月2回の水曜日が不定期で休業。毎年11月23日のお祭りは大に賑わう。

### 面影をほのかに残して 住宅街を走る 旧東海道

### 事件現場の150年後は 喧騒を離れた住宅街に

#### 生麦事件 発生現場

神奈川宿から川崎大師見物へと向かうリチャードソンら4人の英国人が、江戸から京への帰路についた薩摩藩主の父・島津久光の一行と遭遇し、供頭の奈良原吉左衛門に斬りつけられた現場がここ。道静かな住宅街を福員や微妙なカーブなど当時の面影をいまなお微かにとどめる旧東海道沿いに、一枚の案内板が掲げてあります。150年の時の流れに思いを馳せながらの散歩がおすすめです。



案内板には、生麦村名士が書き残した当時の日記の文面と早川松山が描いた錦絵が記されている。



上:英国人画家が幕府に撮影した事件現場付近横浜御菜浦資料館蔵 中:早川松山が描いた遊覧する外国人女性(国立国会図書館蔵)

### 東海道の漁村で衝突した 侍の常識と西洋の常識

ペリーが率いる黒船来航によって日米和親条約が結ばれ、200年以上続いた鎖国体制が終わりを告げました。それから8年後の文久2(1862)年8月21日に事件は起きました。江戸から京へと向かう薩摩藩主の父・島津久光の行列と、神奈川方面から川崎大師へ乗馬で向かう4人の英国人が生麦村の東海道で鉢合わせ乗馬の4人は行列に接触してしまふのです。結果、抜刀した薩摩藩士により英国人1名が死亡、2人が重傷という事態が起きてしまったのです。薩摩藩側とすれば、これはいわゆる「無礼討ち」。あくまで非ハ英国人二有りの、立場でした。しかし列強国イギリスはそうは考えません。事件は賠償問題から鹿児島湾で大砲を交える薩英戦争にまで発展していくのです。戦争は勝敗が曖昧なまま終わりますが、西洋の力を見せつけられた薩摩藩は結局賠償金を支払います。その額は今の30億円とも。薩摩藩が同様に西洋の力を思い知った長州藩と手を結び明治の扉をついに開いたのは、事件から5年後のことだったので





広重作「東海道五十三次細見図会 程ヶ谷」に描かれた納め太刀を担ぐ大山詣りの人々(国立国会図書館蔵)

Story  
認定されたストーリー②

江戸庶民の信仰と行楽の地  
～巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～

# 大山



納め太刀は徐々大きくなり、最大で7mに及ぶものも。

大山は神奈川県西部の丹沢山地南東部に位置する、標高1252メートルの山。なだらかな稜線と尖った山頂で遠目にもわかりやすく、古くから山岳信仰の霊場として崇敬を集めてきました。

別名、雨降山と呼ばれ、雨乞いの神様としても崇められ、江戸時代中頃から大山詣りが盛んとなります。

山頂部に露出する大石が石尊大権現(石尊社)として祀られ、山頂には阿夫利神社が、中腹には大山寺が建ちます。特に水や石の縁起から、火消しや鳶、大工や石工などから篤く信仰されました。当時、同じく崇敬を集めた富士

山を詣るには、江戸からだて箱根関所を通らなければならず、その必要もない大山は気軽に楽しめる参詣旅行として人気でした。江戸の人口が100万人の頃、年間20万人も訪れたそうです。

参拝者は仕事仲間や地域などで講を組織し、旅費を積立て順番で参りました。源頼朝が武運長久を祈願し、大山寺に太刀を奉納したという話にちなみ木太刀を奉納するのが習わしです。もう一つ、山中での滝垢離も習わしとなりました。滝で身を清めてから参拝するのですが、火消しなどは自慢の彫り物を披露する格好の場で、その様子は浮世絵にも描かれています。



宿坊が並ぶ参道。御師(先導師)と呼ばれる神職が参詣者の宿泊から登拝の道案内まで果たした。



大山阿夫利神社で行われる倭舞・座子舞。神社は第10代崇神天皇の代に創建されたと伝わる。



天平勝宝7(755)年に創建されたと伝わる大山寺。江戸時代の人々が納め太刀を奉納した寺。



大山寺境内に新築した中世の瓦葺、相模湾に写る山々の景。伊豆半島で描いた五雲亭裏作相模国山崎郡大山寺阿夫利神社裏(伊豆半島市教養文化課蔵)

写真協力：伊勢原市



「鎌倉五山」と呼ばれた5つの寺を中心をなし、その筆頭が建長5(1253)年に創建された建長寺だ。



鶴岡八幡宮は頼朝が幕府を開く1300年ほど前の慶長6(1603)年、源頼朝が京都の石清水八幡宮を由比ヶ浜に祀ったのが起源。



「鎌倉七口」と呼ばれた切通。写真の仮柱坂以外にも、朝夷奈切通や名越切通などが往時の雰囲気を残す。



旧前田侯爵家別邸は市に寄贈され、現在、鎌倉ゆかりの文筆家を紹介する鎌倉文学館として公開されている。

源頼朝が鎌倉幕府を開いた年がかつてはいくらつくろうと覚えずしたが、いまでは「いはいはこくろうとく、文治元(1185)年」というのが一般的だそう。この年は守護や地頭を全国に配置し支配体制を確立したときで、従来の建久3(1192)年は頼朝が征夷大將軍となり幕府体制が完成した年という見方がたす。

それから約150年。足利尊氏らによって幕府が減じる元弘3(1363)年まで、鎌倉は日本の政治の中心でした。鶴岡八幡宮と参道の若宮大路を中心に街がたくられ、たくさんのお寺が建立されました。その要となったのが臨濟

宗です。奈良や京都とは違った禅宗の寺が武家の都で広まりました。鎌倉は三方を山に囲まれた天然の要害です。鎌倉に続く道は山を削りつくった切通を抜けて市街に通じました。いまもいくつか残り、往時の雰囲気を感じます。

都が西に移ると鎌倉は次第に廃れていきます。しかし江戸時代半ば頃から江の島などとともに庶民の観光地として人気を博し、明治には海浜保養地として別荘やホテルなどが建てられます。文人も多く移り住み、独特の鎌倉文化が形成されます。まさに時代の変化とともにモザイクのように歴史と文化を紡いできた古都が鎌倉です。

写真協力：鎌倉市、鎌倉文学館

2016年に一挙認定!

神奈川県の

# 「日本遺産」 3つのストーリー Story

「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。  
(文化庁HPより)

そんな「日本遺産」が神奈川県内で3つ認定されています。後世まで語り継ぎたいストーリーとは?

Story  
認定されたストーリー①

「いざ、鎌倉」  
～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～

# 鎌倉



建長4(1252)年に建立が始まったという臨濟宗本尊の国玉御達阿弥如来坐像。ははは建立時の像容を偲ぶ。





日露戦争の日本海海戦でバルチック艦隊に勝利した旗艦の三笠が、横須賀の港に記念艦として保存されている。

江戸時代も半ばを過ぎる頃から外国船がちよくちよく姿を見せ、幕府は海防に力を入れます。東京湾の出入口にあたる要衝、浦賀にも奉行所が置かれ、文化期（1804〜1818）には台場（砲台）が築かれました。その後、慶応元（1865）年、幕府によって浦賀に製鉄所（後に造船所）がつくられますが、建造に深く関わったのが旗本の小栗上野介です。小栗は渡米の経験があり造船の重要性を熟知していました。技術を指導したのはフランス人技術者レオンス・ヴェルニー。2人の仕事が決後の横須賀の歴史に影響していくこととなります。

*Story*  
 認定されたストーリー ③  
**鎮守府 横須賀**  
 ・呉・佐世保・舞鶴  
 ～日本近代化の躍動を  
 体感できるまち～  
**横須賀**

明治の富国強兵と殖産興業政策のもと、全国で良港が4つ選ばれ、軍港が築かれますが、そのひとつに横須賀が選ばれ、最初に帝国海軍の鎮守府が置かれました（1884）。ドックや工廠、病院などがつくり、以後、横須賀は軍都として発展します。軍都と東京を守るべく周辺にも防衛設備がつくられました。横須賀沖に浮かぶ猿島には、砲台や兵舎、弾薬庫などがつくり、島全体が要塞化。いまでも遺構が残ります。市内各所にも当時の遺産が伝わり、戦後、駐留する米軍文化ともミックスした独特の雰囲気も横須賀を訪れる人々を魅了します。



横須賀製鉄所につくられた日本初の石造ドライドック。現在は米軍基地内となるがいまも現役である。



米海軍基地に近いどぶ板通りは、グルメやエンターテインメントなど日米の文化がミックスした雰囲気。



海軍がルーツの日本のカレー。明治41(1908)年のレシピに基づきつくられた「よこすか海軍カレー」。

写真協力：横須賀市

東京湾要塞の猿島砲台は明治17(1884)年に完成。猿島へは三等桟橋から定期船が出航し、10分ほどで着く。



JR横須賀駅近くのヴェルニー記念館に展示されたスチームハンマー(国重要文化財)は平成8(1996)年まで130年間現役。





# 神奈川の歴史散歩を満喫する10テーマ

KANAGAWA HISTORY WALK



## 2万年前の居住遺構も発見された遺跡群

相模原市  
Sagamihara

相模川を臨む相模原市は、先史時代の遺跡の宝庫。約3万5000年前の旧石器時代には人が住みつき、相模川流域を中心に多数の土器や石器が発掘されています。当時の人々の営みを想像させる遺構のひとつが「田名向原遺跡」(中央区)。日本では最古の約2万年前(後期旧石器時代)の住居跡です。この地域一帯では、相模川を遡上するサケやアユなどを捕食して暮らしていたのでしょうか。ナイフの代わりとなる黒曜石でつくられた石器も発見されています。他にも約5000年前の縄文時代中期の大集落跡「勝坂遺跡」(南区)や、津久井湖上流の史跡「寸沢嵐石器時代遺跡」(緑区)など、都市化が進んだ相模原市ではありますが、状態のよい先史時代の遺跡が残され、先祖の暮らしを肌で感じることができます。



1 豊かな緑や泉がある「史跡勝坂遺跡公園」。2 「田名向原遺跡」の住居状遺構はわが国最古の例。3 「史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館」【電話】042-777-6371 4 国指定の「寸沢嵐石器時代遺跡」は縄文後期と推定される。5 津久井湖近くにある「川尻石器時代遺跡」(緑区) 6 相模原市の歴史や自然を総合的に学べる相模原市立博物館【電話】042-750-8030 7 横浜市にある神奈川県考古学の殿堂「埋蔵文化財センター」【電話】045-252-8661

写真協力：相模原市、神奈川県埋蔵文化財センター



## 古代相模国の国分寺跡

海老名市  
Ebina

神奈川県央部の海老名駅は、小田急線、相鉄線、JR相模線の3路線が乗り入れるターミナル駅。その海老名駅の東側の台地にあるのが「史跡相模国分寺跡」です。全国に国分寺がつくられるようになったのは8世紀のこと。聖武天皇の勅願で五穀豊穡・国家鎮護のため全国に国分寺と国分寺尼寺が建立されました。

現在の海老名市国分に建てられた相模国分寺は、西に大山・丹沢山地を臨む相模川沿いの台地に位置します。3万平方メートルもの広大な敷地に、金堂と高さ60メートルを超える七重塔が東西に配置されていたとか。平成4(1992)年、海老名駅前の広場には復元された七重塔が建てられ市のシンボルとなっています。実際の1/3サイズにもかかわらず、往時の威容を感じることができます。



1 海老名駅の東側にある「史跡相模国分寺跡」。一部、伽藍の基壇や平面形が復元され、当時の様子が体感可能。2 海老名駅東口に建てられた市のシンボル、1/3のサイズの七重塔。3 「海老名市温故館」では国分寺の復元模型のほか郷土史に関する資料も。【電話】046-233-4028 4 現在の国分寺参道入口にある「海老名の大ケヤキ」。樹齢は推定約570年。5 相模でも最古級の「有鹿神社」は相模川に臨む位置に鎮座する海老名の総鎮守。

写真協力：海老名市





## 神仏習合の聖なる巡礼スポット・江の島

藤沢市  
Fujisawa

北斎や広重など江戸時代の絵師が好んで題材に選んだ「江の島」。絵のように美しい「絵島」が由来との説もあります。9世紀初頭、古くから島の信仰の要であった洞窟に、空海が岩屋本宮を創建。その後、本宮、上宮、下宮からなる江の島宮が整えられました。江戸から近く、大山詣りとセットにしても数日間の小旅行。娯楽好きの江戸っ子にとっては手軽な巡礼スポットでした。大正、昭和となり、江の島は近代的な行楽地へと変貌します。昭和39（1964）年の東京オリンピックではヨット競技会場に選ばれ、埋め立てが行われるなど島の姿は大きく変わりました。2020年開催の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会でもセーリング競技を開催予定。また新しい江の島の姿が見られるかもしれません。



1 島の最奥部にある海蝕洞の岩屋は、空海のほか日蓮上人も修行したといわれる江の島信仰発祥の地。2 奉安殿には「八臂弁財天」などが安置されている。3 全裸で琵琶を抱える日本三大弁財天のひとつ、裸弁財天の「妙音弁財天像」。4 江島神社の辺津宮は、建永元（1206）年に源実朝が創建した。

写真協力：藤沢市



## 広重も描いた美しき観光地・金沢八景

横浜市  
Yokohama

「金沢八景」で知られる横浜市金沢は、横浜郊外の景勝地。京浜急行の特急で横浜駅から金沢八景駅までおよそ20分とアクセスも良好です。鎌倉の東、7キロほどのところに位置し、鎌倉幕府のころには鎌倉の外港（港のない都市付近にあり物資の積み下ろしをする港）の役割を担い、航路の玄関口として賑わいました。金沢八景の名称は、江戸時代に明の僧侶がこの地の風景を眺め、中国の瀟湘八景（水墨画の画題として有名な8つの名所）になぞらえたことから広まりました。広重が浮世絵に描いたこともあり観光地として人気。現在は埋め立てのため景観も変わってしまいましたが、浄土式庭園が美しい称名寺や琵琶島を望む風景には、当時の名残もあり、今に伝わる浮世絵と見比べてみるのも一興です。



1 金沢にある築港。穴子井が名物の漁船漁食堂も。2 野島公園にある伊藤博文の旧別荘。平成21（2009）年に復元された。3 金沢北条氏一門の菩提寺の「称名寺」、美しい境内は市民憩いの場。4 称名寺に隣接する「金沢文庫」。蔵書の内容は政治、文学、歴史など多岐にわたり、鎌倉時代の諸相をうかがうことができる。

写真協力：神奈川県立金沢文庫



## 県南を走る日本の大動脈・東海道

藤沢市ほか  
Fujisawa etc.

関ヶ原の合戦で家康が勝利したことにより、東海道は「日本の大動脈」として飛躍的に発展しました。東海道の駅制が確立したのは慶長6（1601）年。神奈川県下には、品川の次の2番目の宿にあたる川崎宿に始まり、神奈川、保土ヶ谷（程ヶ谷）、戸塚、藤沢、平塚、大磯、小田原、箱根の9宿が設けられました。その後が始まる参勤交代などによって通行量が増えると街道筋の整備が進み、世情が安定するにつれ、お伊勢参りなどの庶民の利用も拡大。東海道は一大観光ルートとしても発展します。宿場町として東海道一の規模を誇る小田原宿や、街道最大の難所「箱根の山越え」の不便さを解消するために新設された箱根宿など、各宿場町は現在も県を代表する名物、名産品、観光名所も豊富です。



1 イタリア人写真家のF・ペアトが撮った、松並木が続く東海道（放送大学付属図書館蔵）。ペアトは約20年間、日本各地を記録した。2 元箱根から恩賜箱根公園までの旧街道沿いに約500mの杉並木が並び、樹齢400年を超える400本の杉が並び、鬱蒼とした雰囲気。3 藤沢にある「藤沢市ふじさわ宿交流館」。藤沢宿の歴史や文化を紹介する。4 藤沢市ふじさわ宿交流館には藤沢宿を再現した模型も展示されている。入館無料。【電話】0466-55-2255

写真協力：箱根町、藤沢市



## 家康の命でできた全長32キロの用水路

川崎市  
Kawasaki

神奈川県と東京都の境を流れる多摩川から取水し、川崎市内を流れる水路が「二ヶ領用水」です。国内でも有数の歴史を誇る灌漑用水で、土日ともなると用水路に沿った道はジョギングする人や散歩する人たちで賑わいます。二ヶ領用水は徳川家康の命を受けた用水奉行・小泉次太夫が慶長4（1599）年から工事に着手し、12年後に完成させました。完成した用水は全長約32キロ。その後400有余年の歴史で、農業と工業の発展に寄与した貴重な水路です。明治時代には水が不足する横浜の飲料水として供給されたこともあり現在は市民が水や自然に親しむ憩いの場を提供しています。用水周辺には貴重な自然も残り、都会の里山のような生田緑地も隣接。ぜひ散歩に出かけてみては？



1 二ヶ領用水の上流域は自然環境や景観に配慮した親水地として整備されている。2 広重の「東海道五拾三宿名所 川崎宿大原原真景」には用水で潤う田んぼも（国立国会図書館蔵）。3 多摩川から取水された水は下流の「久地内筒分水」で4つの堀に分水。4 二ヶ領用水に臨む「日本民家園」（川崎市多摩区）には各地の古民家がある。





のどかな漁村から国際港へと急発展!

横浜市  
Yokohama

安政6(1859)年に横浜は開港、貿易が始まり、居留地がつくられました。幕府は急ピッチで街づくりを進め、江戸日本橋の三井呉服店をはじめとする商人を全国から集め、翌万延元(1860)年にはその数が200軒超に。外国人も居留地に次々と店を開き、ホテルやビール工場なども建てられました。開港から数年後にはほぼ街並みが完成したというから驚きです。やがて外国人たちも増え居留地は手狭に。西の山手にも居留地がつくられ、最初の居留地には中華街が形成されていきます。明治5(1872)年、新橋と横浜を結ぶ日本最初の鉄道も開通し、横浜はさらに発展していきます。

開港から150年以上が経ちましたが、港町横浜には、当時の歴史を偲ぶ遺産が数多く伝わり、見どころが尽きません。



1 開港間もない横浜の本町通りを描いた五雲亭貞秀作「神名川横浜新開港園」(国立国会図書館蔵)。三井呉服店の紋も。2 明治5(1872)年、横浜駅(現・桜木町駅)と新橋駅(旧・汐留駅)を結び鉄道が開通。入江を横切る埋立地が写されている。3 居留地にあったランドホテルは明治6(1873)年創業。現在あるホテルニューグランドとは別。4 新たにつくられた山手居留地。5 山手では7つの洋館が復元され一般に無料公開されている。

写真協力: 横浜市、神奈川県立歴史博物館(2,3,4)



こんなにある横浜発祥の西欧・近代文化

横浜市  
Yokohama

文明開化の波を受け、西洋から洗練された文化や技術が伝来した港町横浜には、数多くの「発祥の地」があります。駆け足で紹介していきます。

日本初のパン店は横浜。内海兵吉が仏軍のクックから教わりパンを焼き始めたのは開港の翌年の万延元(1860)年のことでした。文久2(1862)年には最初のレストランができ、2年後にはカフェも開店。水を輸入してアイスクリーム店も慶応元(1865年)年に開業しました。同じく明治2(1869)年には、山手居留地にビール醸造所がつくられ国産初のビールが誕生します。

日本初の病院や西洋式床屋、日刊新聞の発行、石鹸の製造も横浜発祥。中区を中心に各所にモニュメントや案内板があるので街歩きしながら探してみてください。



1 明治10年代に設置されたレンガの下水管。一定の流速を保つために卵形に。2 設置当時の日本初の型をモデルに復元されたガス灯。3 山下公園内に立つ「ZANGIRI」とタイトルされた西洋理髪発祥之地を記す像。4 日本初のパンづくりの祖、内海兵吉がつくった富田屋があったところに設置された「近代のパン発祥の地」碑。



文人、政治家たちが愛した別荘地・湘南

大磯町  
Oiso

県南中央部、相模湾に臨む大磯町は、年間を通じて過ごしやすい気候とともに美しい砂浜を有したことから、明治18(1885)年、陸軍軍医総監を務めた松本順が日本初の「海水浴場」を開設。以後、大磯は政財界の人々がこぞって別荘を建てる人気保養地となりました。

初代内閣総理大臣・伊藤博文も大磯を深く愛した1人。伊藤以外にも山県有朋や大隈重信、西園寺公望、寺内正毅、原敬、加藤高明、吉田茂といった合計8人もの首相経験者が居を構えました。明治・大正・昭和にわたり、大磯は政界の奥座敷ともいべき様相で、政財界の要人がこぞって別荘を建て続けました。三菱財閥をつくった岩崎家の別荘跡地を整備した神奈川県立大磯城山公園からは、太平洋に臨む広大な景観が楽しめます。



1 三井財閥本家の別荘地であった神奈川県立大磯城山公園の展望台からは、相模湾や富士山などの絶景が。2 吉田茂が暮らした邸宅を復元した旧吉田茂邸。昭和22(1947)年頃に建てられた応接間棟と、昭和30年代に吉田五十八が設計した新館をメインに再建。3 大磯城山公園内に建つ大磯町郷土資料館。「湘南の丘陵と海」がテーマ。4 大磯には300年以上の歴史を誇る日本三大俳諧道場の一つ、鴨立庵も。

写真協力: 大磯町



黒船を迎え米国とつながった港・浦賀

横浜須賀市  
Yokosuka

江戸末期の嘉永6(1853)年、アメリカのペリー提督率いる4隻の船が浦賀沖に現れました。開国、明治維新へと至る歴史の大きな転換点となった黒船来航をきっかけに、浦賀は造船の町として生まれ変わります。

江戸幕府がオランダから購入した洋式軍艦「威臨丸」は、日米修好通商条約の批准書を交換するため、勝海舟ら遣米使節団を乗せ、安政7(1860)年に浦賀港を出港し、1カ月半の航海の末にサンフランシスコ港に到着。日本で初めて太平洋横断を成し遂げました。浦賀港の東西に向かい合っているのが叶神社。ここで勝海舟が威臨丸での太平洋横断前に断食をしたとも伝えられています。一行が無事に使命を完遂できたのは、この勝の願かけのおかげだったのかもしれない。



1 毎年4月末に行われる「威臨丸フェスティバル」では史跡案内など各種イベントも開催。2 久里浜のペリー公園にあるペリー提督胸像。3 世界的にも貴重なレンガ製ドライドックの浦賀ドック跡地。1世紀以上にわたり約1000隻もの船をつくらせた。4 東叶神社の裏山は明神山と呼ばれ、保全された自然林が残る。

写真協力: 横浜須賀市